

一 般 質 問 通 告 事 項

(令和3年第2回白岡市議会定例会)

第1通告者

17番 石原富子 議員

1 ヤングケアラー支援について

家庭内で、家族の慢性的な病気や障害、精神的な問題を抱える家族のケアをしている18歳未満の子ども（ヤングケアラー）の実態が厚生労働省と埼玉県の調査から見えてきた。

市内のヤングケアラーを白岡市としてはどのように支援していくか。

- (1) 白岡市での現状と実態について伺う。
- (2) 学校では、今後どのように把握するのか伺う。
- (3) 学校での支援策はどのようにしていくのか伺う。
- (4) 地域で見守り、支援するためには周知する必要がある。周知方法を伺う。
- (5) 地域や行政での支援方法をどう考えるか伺う。

第2通告者

1番 石渡征浩 議員

1 シナジー効果を狙った取り組みについて

限られた財源の中では、小さな投資で、いかに大きな効果を生み出すかの観点が重要。事業どうしのシナジー効果を生む取り組みが必要と考える。このことについて、市の見解を伺う。

2 しらおか味彩センターのテコ入れについて

- (1) 筆頭株主として、しらおか味彩センターとどう向き合っていくのか、改めて、その基本スタンスと決意について伺う。
- (2) 今後の課題は、いかに売上を拡大するか。その実現には、品揃えを充実させることが第一の条件。どう強化するのかについて、伺う。
- (3) 品揃えを充実させるためには、市内外を問わず、出荷者の確保が必須。どう確保するのか伺う。
- (4) 定休日を月曜日ではなく、別の平日（例えば、水曜日か木曜日）に変更した方がいいと考えるが、見解を伺う。

- (5) 農産物を扱っている店とわかるように、懸垂幕にも「農産物直売所」と併記したらどうか。
 - (6) 商売で一番大切なことは、消費者ニーズを基点とすることである。消費者ニーズを把握すれば、今後の対策が見える。ニーズ把握には、様々な手法があるが、その1つとして、市民や生産者に参加してもらい、ざっくばらんに話し合う機会を設けてはどうか。
- 3 現有資源の有効活用について
- 白岡宮代線の県道春日部菖蒲線までの開通に合わせ、現行のしらおか味彩センターを核にして「道の駅」（道の駅的な施設）を整備してはどうだろうか。
- 4 新たな農産物の可能性について
- 第3、第4の農産物の育成は急務。農業者に対して、青パパイヤやピーカンナッツの苗木の購入額の一部を補助したらどうか。
- 5 第6次総合振興計画「基本構想」への指摘に対する検討結果について
- (1) 構想を描くに当たって、押さえるべき重要な3つの前提が抜け落ちている。「市民ニーズ」「強みと弱み」「財政事情」を踏まえて組み立てるべきと指摘した。検討結果を伺う。
 - (2) 基本構想について、考え方・表現を整理する必要がある。漏れている視点を追加し、優先する分野を明確にする必要がある。
また、描くべきは「まちづくりの将来像」ではなく「まちの将来像」である。検討結果を伺う。
 - (3) 「まちづくりの基本課題」と「分野ごとの政策目標」の整合性がとれるよう、再整理した方がいい。見解を伺う。
 - (4) より完成度の高い計画を目指して、印刷にかけるギリギリのタイミングまで修正を繰り返すべき。計画策定のスケジュールを見直してはどうか。

第3通告者

15番 遠藤 誠 議員

1 企業誘致について

- (1) 従前のような方法では誘致はかなわないのではないか。
 - (2) 白岡市の売りをもう一度データから作るべきではないか。
- 2 農地について
- (1) 農地の管理について3月議会以降の地権者への通知の進捗は。
 - (2) 農地は耕作され、食糧が得られることがSDGsの目標ではないのか。
 - (3) 企業が社員のために美味しいお米や野菜を作り、現物給付して福利厚生に資することもできるのではないか。
- 3 総合振興計画にある「協働」について
- (1) 「協働」という考え方への共感、思想を作ることが必要ではないか。
 - (2) 一人ひとりの市民と協働で緑を増やしていくという協働は。
 - (3) 図書館に市内企業コーナーを企業と一緒に作るという協働は。
 - (4) 市民の所蔵美術作品等で所蔵品展を開くという市民との協働は。
 - (5) バンドフェスティバルについて

第4通告者

2番 中村匡志 議員

- 1 市内の神社をいかに次世代に引き継ぐか
- (1) 市内にある各神社の縁起（創建年を含む）・祭神・社格は。
 - (2) 各社につき、社殿の築年数や状態、宮司等神職の後継者の有無は。
 - (3) 最高裁判所は、憲法の政教分離規定に関する空知太神社事件判決において、「我が国の社会的、文化的諸条件に照らし、信教の自由の保障の確保という制度の根本目的との関係で相当とされる限度」において神社と地方公共団体のかかわり合いが認められるものと判示している。
- ア 文化的諸条件の具体例として挙げられた、神社が「歴史的、文化財的な建造物として保護の対象となるもの」である場合について
- (ア) 現在、市の文化財に指定されている神社はあるか。
 - (イ) 「白岡市文化財保存活用地域計画」における各社の位置付け

は。

イ 社会的諸条件の具体例として挙げられた、神社が「観光資源、国際親善、地域の親睦の場」である場合について

(ア) 市の観光政策における各社の位置付けは。近年の参拝者数についてデータはあるか。参拝者数を増やすため、道路や駅ホーム等に案内看板の整備を進めるべきではないか。

(イ) 市のシティプロモーション政策における各社の位置付けは。シティプロモーションの観点からも、道路や駅ホーム等に案内看板の整備を進めるべきではないか。

(ウ) 市内の神社に集会所やグラウンドゴルフ場等が設置され、「地域の親睦の場」となっている事例について伺う。

(エ) 市内の神社に都市公園が設置され、「地域の親睦の場」となっている事例について伺う。

(オ) 市内の神社に児童遊園が設置され、「地域の親睦の場」となっている事例について伺う。

ウ その他「我が国の社会的、文化的諸条件」について

(ア) 我が国では神社が地勢上災害に強い場所にあることが多いが、「白岡市地域防災計画」における各社の位置付けは。避難場所等として活用を推進すべきではないか。

(イ) 我が国では神社の参道に門前町が形成されることが少なくない。都市計画道路白岡駅西口線は白岡八幡神社への表参道となるが、その意義に見合った造りにするつもりはあるか（石畳・灯籠の設置等）。

(4) 以上をふまえ、市はどのように市内の神社を次世代に引き継いでいくつもりか。社殿等の維持管理・修繕・増改築やその資金調達といったハード面と学校教育・生涯教育等を通じた伝統継承や担い手の育成といったソフト面について伺う。

2 市政における人権擁護について

(1) 江原信明さんはどこにいるのか。

ア 搜索の状況について伺う。

イ 市は、どのような啓発活動を行っているのか。

ウ 学校教育において、江原信明さんについて教えているか。作文コンクールや公開授業等の予定はあるか。

エ 市長は県議と連携して、この問題にどのように取り組むのか。
例えば、市公式ホームページへの記載、ブルーリボン運動の推進、啓発週間中の懸垂幕の設置、パネル展・街頭活動の開催等を行うつもりはあるか。

(2) 国際問題となっている人権侵害への対応について

ア 新疆ウイグル自治区における人権侵害に関する市の現状認識を伺う。市内に居住するウイグル人はいるか。

イ 市はSDGsにコミットしているが、SDGsを達成する重要な手段として「フェアトレード」(公正な貿易)がある。この観点から、以下の企業を公共調達から排除するつもりはあるか。

(ア) 昨年3月1日に公表されたオーストラリア戦略政策研究所報告書「Uyghurs for sale」で名指しされた82企業のうち、疑惑が払拭されないもの

(イ) 昨年7月20日にアメリカ合衆国商務省が禁輸措置対象とした11企業

ウ 人権教育において、ウイグル問題はどの程度取り扱われているか。今後の人権教育推進協議会において、ウイグル問題を取り扱う予定はあるか。

エ 市長は県議と連携して、この問題にどのように取り組むのか。
例えば、証言集会の開催や関連図書の市立図書館・学校図書館への配備等を行うつもりはあるか。

第5通告者

12番 中川幸廣 議員

1 育児休業後の職場復帰にあたり子どもの保育所入所を優先的に考えては。

(1) 市内の育児休業後の職場復帰者数の把握はなされているか。

(2) 育児休業後の職場復帰は子どもの保育所入所がどうしても前提と

なるが、入所条件にその様な状況は加味されないのか。

- (3) 市の税収確保の面からも、育児休業後に職場復帰を果たし、職場に復帰すれば当然市民税の納付も発生するので、是非子育ての面からも市税確保の面からも考慮に値する問題と思うが如何か。
- 2 後期高齢者の医療費負担が1割から2割に引き上げられるがその影響は。
- (1) 政府は先頃、年収200万円以上の75歳以上の後期高齢者が医療機関で支払う医療費の窓口負担を1割から2割に引き上げる決定をしたようだがその内容は。
 - (2) 市内でその影響を被る高齢者は何人くらいおられるか。また、負担額はどの位増額すると想定されるか。
 - (3) 高齢者にとり負担増は深刻な問題となり、病院に行かない高齢者が出ると思われるが、危惧される問題と市としての対応は。

第6 通告者

9 番 菱 沼 あゆ美 議員

1 社会的孤立防止の課題について

(1) 女性の貧困問題「生理の貧困」について

ア 市の防災備蓄品（生理用品・紙オムツなど）をローリングストックしながら、継続的に活用してはどうか。

イ 市民からの生理用品等の提供の協力を得ることについて伺う。

ウ 配布についてどのように行うか伺う。

エ 学校での取組についての現状は。トイレなどに備品として置くなどはできないか。

(2) 税金などの滞納をSOSと捉え、支援などにつなげられるように、さらに具体的に取り組んではどうか。

(3) 自殺対策について

ア 自殺者の現状や、傾向などについて伺う。

イ 市の対策として、ゲートキーパー研修を行っているが、現状は。また、広域消防での取組を伺う。

ウ 早期発見と予防が重要と考える。市民が「こころの健康」をチ

ェックできるようなシステムを取り入れることで、相談窓口や治療、支援につなげることができるのではないか。

2 親亡き後の支援について

- (1) 障がい者などの親が、自分が亡くなった後の生活を心配し不安を抱えている。市の取組の現状は。
- (2) 勉強会や研修会などを開催し、その時に備える支援をしてはどうか。また、個別ライフプランの活用などをしてはどうか。
- (3) 成年後見制度の進捗状況は、どのようになっているか。

第7 通告者

7 番 松 本 栄 一 議員

1 市内の都市公園等について

- (1) 都市公園は、市内に31ヶ所あるが、白岡駅西側及び新白岡駅東側に集中している。小学校区毎の公園数と遊具、水道、トイレ、駐車場等の設備状況は。
- (2) 都市公園と同様に小学校区毎の児童遊園数と遊具等の設備状況は。又、維持管理状況は。
- (3) 都市公園と児童遊園の設置区域で、公園数の差が大きい理由は。
- (4) 菁莪地区には、都市公園が一ヶ所もない。岡泉調節池が本年7月に工事完了と聞くが、その周辺の土地を活用して県と協議し、水辺の公園として整備できないか。

2 都市計画道路白岡宮代線について

- (1) 白岡宮代線は、橋脚工事も進み、東北道東側が市民にも見える形となってきた。県道春日部菖蒲線までの完成予定と白岡市B&G海洋センター前の交差点及び駐車場の出入口の詳細について伺う。
- (2) 白岡宮代線の延伸については、2014年9月議会で、宮代町方面へのルートの検討と赤砂利橋の架替工事を行うとの答弁であったが、現在の取組状況は。
- (3) 白岡宮代線の名称は、宮代町までの都市計画道路の名称と考える。第5次総合振興計画においては、東武動物公園入口周辺をレクリエーション的土地利用検討区域としているが、現状は困難と思われる。

起爆剤としての県道さいたま幸手線（御成街道）までの延伸が不可欠と考えるが、宮代町との協議も必要であり、今後の計画はあるか。

第8 通告者

8 番 中 山 廣 子 議員

1 地域にとってより良い都市公園の在り方について

- (1) 本市の都市公園は31か所。デザインや機能が様々だが、どんなコンセプトで公園を作っているのか。
- (2) 都市公園をつくる時、市民の多様なニーズをどのように受け止め、反映させているか。
- (3) 都市公園の環境・施設・利用方法などについての苦情やご意見は寄せられているか。その時「道路等の公共施設不具合通報」を利用したの通報の割合はどのくらいか。
- (4) 市内の都市公園の遊具や施設は、「公園施設等の長寿命化修繕計画」に基づき、国からの交付金を活用して順次、改修を進めているということだが、進めるうえでの課題は何か。

2 子どもの放課後の過ごし方について

- (1) 菁莪小学校の放課後子ども教室について伺う。
 - ア 菁莪小学校で行うことになった経緯、及び現在までの進捗状況を伺う。
 - イ 登録人数、稼働日数、プログラムの内容、参加費など概要を伺う。
 - ウ 募集はいつから、どのように行い、どのように周知をするのか。また、現時点での課題はあるか。
- (2) 大山小学校の「大山小放課後倶楽部」について伺う。
 - ア 現在、すべての児童を対象として「放課後児童クラブ」「放課後子ども教室」の各事業を一体的に実施して、それをNPO法人が運営しているが、市が運営することはできないか。
 - イ 市としてできることはないか。
- (3) 放課後子ども教室について、本市の将来の展望を伺う。
- (4) 学童保育について、募集の周知について伺う。

3 奨学金返還支援制度について

- (1) 本市では、大学・高校などに進学するための貸付制度はどのようなものがあるか。内容と返還方法、また、直近の実績を伺う。
- (2) 国の貸与型奨学金を利用し、卒業後に返済している方の中には、就職後賃金が低く、返済することが困難な方もおり、奨学金の返還に関連し、自己破産してしまうケースも多くみられる。そのような奨学金の返還に不安を抱えている方々に対する支援や、地方創生の観点から本市でも奨学金返還支援制度を導入してはいかがか。

第9 通告者

13番 細井 公 議員

1 特色ある産業づくりについて

市内の商業は、後継者不足もあり時代の要請にこたえていくことが難しい。官民協働での後押しが必要と考えるがいかがか。

2 市内の道路環境の見直しについて

自動車にも歩行者にも不便を感じるところが多い。市民からの情報提供を受ける体制をつくり、状況に応じた修繕ができる体制が必要と考えるがいかがか。

第10 通告者

6番 関口 昌 男 議員

1 国民健康保険制度に係る国の動きと市の対応について

- (1) 国民健康保険制度に係る国の動向について。
- (2) 昨年の実績はどのような内容なのか。
- (3) 本年度の申請はどのように受け付けるのか。
- (4) 財政問題の対応については一般会計からの繰入金などの検討を。
- (5) 後期高齢者医療費の窓口負担の引き上げ問題について伺う。
- (6) 両制度に対する市長の決意を伺う。

2 外国人の子どもの学習支援について

- (1) 日本語教育の推進に関する施策の基本的な方針は。
- (2) 全国の調査の内容と白岡市の実績との比較は。
- (3) 今後の充実すべき施策の内容はどのようなものか。

- (4) 特別支援学級への在籍の実態はどのようなものか。
 - (5) 今後の学習支援の充実策について教育長に伺う。
- 3 学習支援事業を小学生まで拡大しては
- (1) 現行の学習支援事業の内容について伺う。
 - (2) 学習支援事業の対象者の把握の方法は。
 - (3) 学習支援事業の対象者の成果は。
 - (4) 小学生からの学習・生活支援活動を実施してはどうか。

第1 1 通告者 3 番 野々口 眞由美 議員

- 1 行政財産と補助金について
- (1) 行政財産の適正な使用について市の考えを伺う。
 - (2) 行財政改革として、補助金についての見直しを検討してはどうか。
- 2 白岡市の教育行政について
- (1) 教育長3期目にあたり、これまでの振り返りと3期目にかける思いを伺う。
 - (2) コロナ禍で若者の自死が増えている。児童生徒の命についての教育長の考えを伺う。
 - (3) 児童生徒の自死の事後対応について教育長に伺う。

第1 2 通告者 1 6 番 黒 須 大 一 郎 議員

- 1 令和2・3年度新設課の使命や効果等は
新型コロナウイルス緊急経済支援室について
- (1) 本支援室の商工観光課ではできない業務や目指す使命とは。
 - (2) 本支援室は期間限定なのか。
- 医療福祉拠点整備推進室について
- (1) 医療福祉拠点整備推進室の既存課では負えない業務と使命は。
 - (2) 同拠点整備推進室は期間限定なのか。
- 行財政改革推進室の具体的事業について
- (1) 対策とせず推進とは。行財政改革推進室は期間限定なのか。
- 3つの新部署を所管する既存の課で担当とせずに、課扱いにしたの

は、どのような考え及び効果・成果を狙ったものか。

2 上下水道経営戦略はどうか

農業集落排水、上下水道事業はこれまでの実施状況を思うと示されている各々経営戦略は10年だが、全体をみる経営課としての長期戦略（30年以上）も必要かと考える。如何か。

3 市長の公約実現への構想（夢）は

- (1) 第6次総合振興計画の構想で、R e d e s i g n 想いを未来へつなげるまち しらおか に込められた想いは。
- (2) 市長は、選挙公約とともに市民を幸福にしたいアイデアや思い信念を公開討論会で述べたとのことだが、自身で新年度予算を組み、市の今後10年間を左右する総合振興計画策定者となった今は、計画実行をする段階かと考える。市民幸福度向上を図る実行計画と目指す成果（夢）は。

第13 通告者

10番 渡 辺 聡一郎 議員

1 消防団について

- (1) 消防団員数の現状と推移、職場属性は。（市内外在住、市内外勤務の比率は）
- (2) 消防庁は消防団員の処遇改善を全国自治体に通知した。当市の団員報酬は近隣市・埼玉東部消防組合構成市町の中でも低い金額となっているが、市はどのように考えるか。
- (3) 消防団の「実践的な訓練」や「備品・設備の点検」等はどのように行われているか。
- (4) 女性やアクティブシニア、また消防団への入団が難しい方も大規模災害の際に機能別分団として活躍できる可能性があるのではないか。「大規模災害団員」の導入について考えを伺う。
- (5) 消防団へのアンケート実施を。新時代に合った消防団の活動・運営の在り方について検討していくために、一般団員からの意見収集が必要ではないか。

2 中央公民館の今後と旧庁舎の跡地利用について

- (1) 中央公民館の今後は。具体的に長寿命化をどのように実行するのか。
 - (2) 中央公民館と旧庁舎跡地の一体的利用は検討できないか。
 - (3) 旧庁舎の跡地利用について市はどのような意向を持っているか。また広く民間に活用方法を求めるべきではないか。
- 3 今後の生活道路等の整備方針は
- (1) 県道蓮田白岡久喜線の歩道整備の進捗状況は。市はどのように県に協力していくか。
 - (2) 道路整備の陳情・要望はどれくらい来ているか。道路改良や新設の要望、側溝整備の要望、歩道設置に関する要望について伺う。
 - (3) 近年、生活道路に関する予算が大幅に削られているが市長はどのように考えているか。また今後の予算確保について考えは。

第14 通告者

11番 加藤 一生 議員

- 1 市役所の労働環境の維持について
 - (1) 職員の労働環境を良好に維持すべく、どういう活動、対応を続けているのか。
 - (2) 現在までのハラスメントの相談件数は。また、ハラスメント防止の為の研修の状況とその効果はどうなっているか。
- 2 職員採用に対する今の市の対応はどうなっているか
 - (1) 当市を希望する公務員志願者の状況は。
 - (2) 来年度の新規職員の採用に対する市側の採用活動状況はどうなっているか。
 - (3) これから将来に向けて、採用活動を含めた市の職員構成・体制をどのように考え、計画していくのか。

第15 通告者

14番 大島 勉 議員

- 1 東北自動車道のアンダーパス冠水時の水害対策について
 - (1) 現状の認識と取組について。
 - (2) 安全確保に対する市の考えは。

第16通告者

4番 齋藤信治 議員

1 小規模特認校としての大山小学校

大山小学校は、今年度から小規模特認校として活動を開始した。今後の展開は。

- (1) 小規模特認校とは、どんな学校か。
- (2) 学校説明会や見学会に参加されたのは10組だが、通学しているのは2組です。この2組が選択を決意されたのは何故か。他の8組が選択されなかったのは何故か。送迎バスがない、学童保育が無いことが問題では。
- (3) 大山小学校における特色ある教育活動とは何か。
- (4) 小規模であるゆえの利点を活かせるのでは。

2 地域部活動支援事業でいいのか

中学校部活動における問題の解決を目指して地域部活動支援事業が計画されている。

- (1) 中学校における部活動の問題とは何か。
- (2) 教師にとっての改善策は。
- (3) 生徒にとっての改善策は。
- (4) 地域部活動支援事業で改善できるのか。
- (5) 提案したい仕組みをどう思う。

第17通告者

5番 山崎巨裕 議員

1 大山小学校小規模特認校制度について

新規募集にあたっては大山小学校を「きめ細かい指導」という利点を活かし「習得に重点を置く学校」として宣伝してはいかがか。

2 放課後子ども教室について

大山小放課後倶楽部に事業としての補正予算を組む必要があると考えるがいかがか。

3 学童保育所設置について

市の学童保育所設置については「5小学校区学童保育所」という括

りがあるのか。

4 大山地域の児童・生徒の減少について

- (1) 大山地域の児童・生徒の減少に関連し総合的な地域対策が検討された経緯はあるのか。
- (2) 大山地域の育ちやすい教育環境の充実・整備に関して総合的な対策の検討が必要と考えるがいかがか。